



Subaru

男声合唱団

ニュース№392

'12. 12. 09

祭典・制作協力金
現在 215,000円です。
(目標 600,000円)

12月7日

“かどま9条”、“檀ソロコン” 出演曲をレッスン

□ 12月7日（金）の定例レッスンは、立川さんの体操と檀先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで、明日に迫った「かどま9条の会6周年記念講演会」の出演曲「私の好きなこの街」、「歎びのナーダム」、「仲間のうた」、「天の火」、「おらぁこごがいい」と「フィンランディア」、それと、「檀美知生ソロコンサート」の出演混声曲「めぐる春に」、「ほんとの勇者の物語」と「アモーレテラ」をレッスンしました。参加は全28名でした。



——大島さんから以下の感想文をいただきました。ありがとうございました。——

日本のうたごえ祭典に参加して

大島成美

入団してまだ日が浅く、5曲の歌の暗譜が大変プレッシャーになっていました。

たったの5曲なので、覚えるのはそんなに手間でないはずなのに、長い間現役を離れていましたので、昔の習慣に戻れないまま、日を迎えてしまいました。全曲しっかり暗譜しないまま参加することは本来あってはならないことですが、参加することも大切なことなので、「参加」の方を選びました。前置きが長くなったのですが、参加の感想を簡単に言います。

出発直前まで、日程の内容がきちんと把握できないまま、「どうにかなるだろう」という気持ちで参加することにしました。

初めて行く所なので、非常にとまどいました。皆さんの後をつけていく分には楽でしたが、単独行動の時が大変不安でした。

歌については、しっかり覚えていなかった割には、バスの中や、直前までの暗譜作業のおかげで、思っていたよりは気持ちをこめてうたうことができました。予想以上に落ち着きと余裕をもって舞台上立つこともできました。ただ残念なのは、若き昔のような声が十分だせなかったことです。

3日間もあった割には、あまり他の人と話す機会と量が少なかったように思います。団以外の人はもちろん、団内の人とも、もっと交流できればよかったと思います。

他の団体の演奏はあまりたくさん聴けなかったのですが、どの団体も「うたごえ」の想いをいっぱい

もっている感じがよく伝わってきました。四十数年前の活動がよみがえってきてとても感動的でした。これからは、できる範囲で、精一杯活動できればと思っています。そして、できるだけ早く、四十数年前の歌声が出せるようにいっぱい練習に励みたいと思っています。

12月8日

“かどま9条の会6周年記念講演会” に出演

□「かどま9条の会6周年記念講演会」が12月8日（土）18時30分から門真市民会館ルミエールホールで開かれ、昂は冒頭に、80名の熱心な聴衆の前で心をこめて演奏し大きな拍手をもらいました。

□選挙期間中の超多忙な中を無理して出席した人が多かったものの、やはり人数は少なく全19名の参加にとどまりましたが、人数が少ない分みな精一杯の演奏に心がけました。

□地元、石橋さんの司会でしたが、今回はいつもの砕けた親しみのある大阪弁丸出しの司会とは「打って変わって」、それぞれの歌の本質にせまった説明を含む、言葉も十分練り上げた格調の高いもので、さすが、市会議員7期をつとめ上げた実績をうかがわせる、聴衆も大いに納得、共感をよぶ司会でした。

昂への入団のお誘いと、来年の「うたごえ祭典・おおさか」への協力依頼とも十分な「訴え」をしました。選挙演説のしめくくりのようでこれも格調高いものでした。

指揮 檀美知生 ピアノ 森二三 司会 石橋章一

- ・私の好きなこの街
- ・歓びのナーダム
- ・淀川三十石舟唄（千秋ソロ）
- ・仲間のうた
- ・天の火
- ・おらあここがいい

プログラム

□本番前に少しだけやったりハーサルに感動した聴衆のご婦人から「石橋さん素敵！」と早くもエールが飛んでの開幕でした。

□公演のあと、会場の席に移り、槇野理啓先生の「世界を感じる日本の『右傾化』＝いま止めないと＝」を聞き勉強した後、三木さんが予約してくれた駅前の居酒屋「得助」で交流反省会をしました。



西島さんの
切り撮ってみる

「日うた：広島」

11月23日 バス組と同時刻発、新幹線で先回りし、広島城から原爆ドーム、平和公園をぬけて会場の文化交流会館まで歩いた。広島と言えば夏、はじめて秋に訪問。24日にはサンフレッチェ広島の優勝を喜ぶ仲間にあっし、25日には初めて似島に渡った。日清戦争以来、似島には陸軍の検疫所があり、捕虜も収容されバウムクーヘンを作ったり、サッカーをしたり当地にその影響を残した。

「安芸の秋サッカー王国鯉の城」・・・似島蹴球・サンフレッチェ広島